

目指す学校像	(1) 生徒が学ぶ楽しさ、わかる喜びを味わえる学校 (2) 教職員がやりがいと誇りを持てる学校 (3) 保護者・地域から信頼される学校
重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教科横断的な学習指導の実現 2 生徒理解に基づく教育相談・生徒指導と心の教育の充実(多様性の尊重) 3 学校・家庭・地域と連携・協働する「地域とともにある学校づくり」の実現 4 学び続け、組織として行動する教職員の育成

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標							実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差は、国語では-1.8ポイント、数学では-4ポイントであるが、年々その差は縮まっている。</li> <li>全国学力・学習状況調査の平均無回答率が、市や全国と比べ高い。</li> <li>全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた」と回答した生徒の割合が全国と比べ、国語・数学共に約8ポイント高い。</li> <li>授業態度に落ち着きがあり、与えられた課題に対して真面目によく取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校以外での学習時間」は、1時間以上と回答する生徒の割合が、県に比べ、12ポイント以上少ない。家庭学習の取組が課題となる。</li> <li>「授業で学んだことを、他の学習で生かしている」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりする」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか」について、全国学力・学習状況調査質問紙の結果から県や全国に比べ、やや下回ることから、定着を図ることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ生徒の育成</li> <li>話し合う活動を通して、考えを深める生徒の育成</li> <li>教科横断的な学習指導の実現</li> <li>「個別最適な学び」の実現</li> <li>諦めず最後まで「書くこと」のできる生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教諭が「学びの指標 主体的な学び」を踏まえた授業を実施する。</li> <li>また、「探究的な学び」を踏まえた授業を実施する。</li> <li>「基礎的な授業スキル」について、教科・学年を越え相互に参観することで学習の質的向上を図る。</li> <li>チャレンジスクール主催のテスト前の学習の参加を呼び掛ける。</li> <li>授業や定期テストに書く課題を意図的に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びの指標」における結果が、1回目より2回目目が向上している。</li> <li>教員同士の相互の授業参観が年2回以上実施できたか。</li> <li>調査結果の分析や学力向上カウンセリングを踏まえ、授業改善の視点、手立てを教科ごとに設定することができたか。</li> <li>学校評価生徒アンケートで「主体的な学習」について肯定的回答が75%以上か。</li> </ul>				
2	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査において、肯定的な回答が、全国、県平均を上回った質問項目は、◎自分には、よいところがあると思いませんか。◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いませんか。◎人が困っている時、進んで助けていますか。◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。◎友人関係に満足している。という結果から、自己肯定感や相談できる大人がいると感じている生徒の割合が高い。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査において、肯定的な回答が、全国平均とほぼ同じであるが、県平均よりやや下回った質問項目</li> <li>△将来の夢や希望をもっていますか。△学校に行くのは楽しいと思いませんか。という結果から、継続的なキャリア教育や進路指導等の充実を図っていく。</li> <li>引き続き、施設設備の安全点検と危険を予測した行動がとれる生徒を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりへの細やかな教育相談に向けた校内体制の構築。</li> <li>自己肯定感や自己有用感を更に高め、継続的なキャリア教育や進路指導への取組</li> <li>安心安全な生活の実現に主体的に取り組む生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはようメーカー」「心と生活のアンケート」等も活用し、生徒一人ひとりの状況を継続的に把握し、学校全体で支援の充実を図る。</li> <li>「人間関係プログラム」で学んだことを日常の場面で意図的に取り入れ、学級で発言しやすい環境をつくることともに、クラスの一員としての役割をもち、活躍の場を設定する。</li> <li>「『命の支え合い』を学ぶ授業」を通して、相談しやすい環境をつくる。</li> <li>いじめ撲滅に向けた取り組みや、登下校時の安全指導及びあいさつ運動を生徒会や委員会を中心として行う。</li> <li>毎月の安全点検を確実に実施し、破損箇所等の修繕を早急に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価生徒アンケート「生徒理解・教育相談・生徒指導」に係る項目において、肯定的な回答の割合が90%以上か。</li> <li>学校評価保護者アンケート、「生徒理解・教育相談・生徒指導」に係る項目において肯定的な回答の割合が80%以上か。</li> <li>生徒会を主体としたいじめ撲滅に向けた取組を実施したか。</li> <li>学校評価保護者アンケート「学校は、教育にふさわしい環境になっている」について、肯定的回答が90%以上か。</li> <li>交通安全に対する意識が向上した」の肯定的回答が80%以上あるか。</li> <li>全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において、肯定的な回答が、県平均並みになったか。</li> <li>「将来の夢や希望をもっていますか」「学校に行くのは楽しいと思いませんか」</li> </ul>				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を小学校と合同開催とし、連携した教育活動が行われている。</li> <li>地域の教育資源を生かした教育活動を行っている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナがら類になったことで、地域の教育資源を本校の教育活動に更に生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す生徒像を地域全体で共有するためのICT活用</li> <li>教育活動の公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だより、学年だよりを通して、子どもの活躍や教育活動の成果を発信する。</li> <li>本校HPの充実</li> <li>教育活動の公開。年2回の授業公開。体育祭、文化祭、合唱祭への地域の方々の参観も実施する。</li> <li>生徒活動発表の場として、地域の行事や取組に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価保護者アンケートで「学校は、地域に開かれた学校づくりに努めている」の肯定的回答が90%以上</li> <li>学校運営協議会委員のアンケートの関連項目で、肯定的な回答80%以上か</li> <li>保護者や地域の方々へ向けた学校公開(授業、行事等)を実施できたか。</li> <li>地域の行事や取組に参加できたか。</li> </ul>				
4	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報端末をはじめとしたICTの活用方法について、担当教諭等を中心に研究を更に進め指導力向上に努めている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業及び校務にICTを活用し、教職員の指導力向上と業務の効率化を図ること。</li> <li>教職員の育成と学校経営・運営への参画意識を高める教職員組織の活性化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の資質能力の向上と育成、教職員組織の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究推進委員会を中心に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教科横断的な学習指導の実現を図る。</li> <li>教員相互の授業公開を通して、教師がICTの効果的な活用に取り組む。</li> <li>教職員の研修機会として年次研修、校務分掌に係る研修へ積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての教員が主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教科横断的な学習指導の実現を目指し、ICTを活用する状況になったか。</li> <li>学校評価保護者アンケートで「教職員の学習指導項目」で肯定的回答が80%以上</li> <li>教職員学校評価「授業における指導法の創意工夫評価項目で十分満足60%以上</li> <li>教職員学校評価「学校全体の調和」で十分満足70%以上</li> </ul>				

